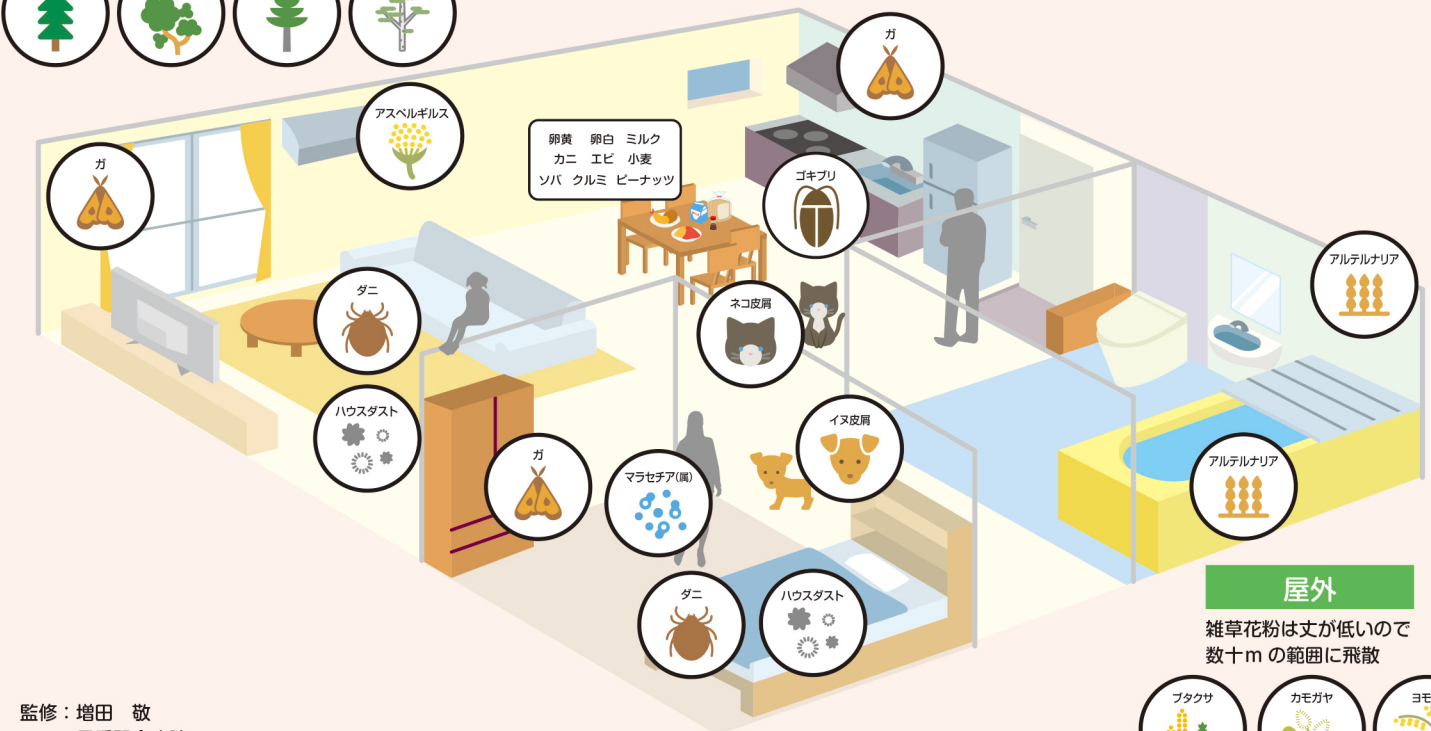


血液検査でアレルギーの原因を調べてみませんか？

屋外

樹木花粉は高い木から
風に乗って数十km 飛散



身の回りにあるアレルゲン例

屋外

雑草花粉は丈が低いので
数十m の範囲に飛散



監修：増田 敬
同愛記念病院
小児アレルギーセンター長

血液検査で、アレルギー疾患において原因となりやすい以下のアレルギーを一度に調べることができます。

食物系・その他（28 項目）							吸入系（17 項目）					
卵	 卵黄*	 卵白*	牛乳	 ミルク*	甲殻類	 カニ*	 エビ*	室内塵	 ヤケヒョウヒダニ	 ハウスダスト1【主にダニ、ネコ皮膚、イヌ皮膚、ゴキブリ等】		
穀物・芋・豆・種	 小麦*	 ソバ*	 クルミ*	 ピーナッツ*				昆虫	 ガ	 ゴキブリ	 ユスリカ(成虫)	
	 ゴマ	 大豆	 ヤマイモ	 アーモンド	 カシューナッツ			樹木花粉	 スギ	 ハンノキ(属)	 ヒノキ	 シラカンバ(属)
果菜類	 リンゴ	 バナナ	 モモ	 オレンジ	 キウイ	 トマト		雑草花粉	 ブタクサ	 カモガヤ	 ヨモギ	
肉類	 牛肉	 豚肉	 鶏肉					カビ・真菌	 アスベルギルス	 アルテルナリア	 マラセチア(属)	
魚類	 サケ	 イカ	 サバ	 イクラ	その他	 アニサキス		動物	 ネコ皮膚	 イヌ皮膚		

* 表示義務のある特定原材料 8 品目

アレルギーの原因は血液検査の結果を参考として医師の診断によって特定されます。この検査で陽性になったからといって原因とは限りません。

アレルギー検査を希望される方は、お気軽に受付・スタッフまでご相談ください。

アレルギーの除去と回避に関する注意点

原因（症状を起こす物質＝アレルギー）を特定し、これらを除去・回避することが大切です。



花粉

- 花粉飛散時期は窓を閉めて空気清浄機やエアコンを利用する。
- 花粉飛散情報を参考にして、花粉の多い時には外出を控え、花粉の多い場所には行かないようにする。
外出時はマスク、メガネ、帽子などを着用して、できる限り花粉をつけないようにする。
- 屋外から帰宅後は衣服についた花粉を落とし鼻うがいや洗顔を行う。

代表的な花粉の飛散時期（地域や気温等により若干の変動があります）

花粉名	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
ハンノキ属 (カバノキ科)												
スギ												
ヒノキ科												
イネ科												
ブタクサ属 (キク科)												
ヨモギ属 (キク科)												

樹木の花粉 飛散量情報

- 多い (50.1～個 /cm²/ 日)
- やや多い (5.1～50.0 個 /cm²/ 日)
- 少ない (0.1～5.0 個 /cm²/ 日)

雑草の花粉 飛散量情報

- 多い (5.1～個 /cm²/ 日)
- やや多い (1.1～5.0 個 /cm²/ 日)
- 少ない (0.05～1.0 個 /cm²/ 日)



室内塵（ほこり）とダニ

- 定期的な掃除機がけでダニのフンや死骸を除去する。
- 寝具類は日光にさらして乾燥させ、丸洗い可能なものを選ぶ。
- 室内の湿度を除湿器などで低く保つことでダニの繁殖を抑制する。



真菌（カビ）

- 換気を良くして湿度を下げ、カビの繁殖を防ぐ。
- 浴室や台所は使用後、しっかりと換気を行い、湿気を外に出す。
- エアコンの定期的な清掃を行う。



動物

- ペットの毛やフケがアレルギーになるため、ペットを飼わないか、定期的に掃除を行う。
- ペットの唾液にも抗原（アレルギー）がある。



食物

- 食物アレルギーは IgE 抗体陽性だけでは診断できない。
- 食物を制限するときは、必要以上の制限をしないように医師の指導を受ける。
- 花粉など食物以外の抗原との交差反応で生ずる食物アレルギーもある。



アニサキス

- アニサキスアレルギーは、海洋に生息する寄生虫アニサキスのタンパク質に対するアレルギー反応です。
このアレルギーは、アニサキスが寄生している魚介類を食べた際に発症する可能性があります。



非特異的 IgE（総 IgE）

- アレルギー体質の有無の判断：総 IgE 値は、アレルギー体質であるかどうかを判断するための重要な指標となる。
- アレルギー疾患の診断：アトピー性皮膚炎やアレルギー性鼻炎など、特定のアレルギー疾患の診断に役立つ。
- 経過観察：治療の効果を測定するために、総 IgE 値の変化を追跡することができる。

判定基準

特異的 IgE

判定基準

SiLIS アレルギー 45+1			
濃度 (TA 値)		クラス	判定
以上	未満		
100		6	陽性
50	100	5	
17.5	50	4	
3.5	17.5	3	
0.7	3.5	2	
0.35	0.7	1	陰性
0	0.35	0	

非特異的 IgE

SiLIS アレルギー 45+1				
濃度 (IU/mL)		クラス	参考基準値 (高値)	
以上	未満		年齢	濃度 (クラス)
1000		6	10 歳以上	200 (4)
400	1000	5	10 歳未満	100 (3)
200	400	4	5 歳未満	70 (2)
100	200	3	3 歳未満	40 (2)
40	100	2	2 歳未満	20 (1)
20	40	1	1 歳未満	10 (0)
0	20	0	6 ヶ月未満	5 (0)
			3 ヶ月未満	2.5 (0)